

石川工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	実践英語(Speaking)	
科目基礎情報							
科目番号		20085		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		環境都市工学科		対象学年		5	
開設期		後期		週時間数		2	
教科書/教材		Kenton Harsch and Kate Wolfe-Quintero「Impact Listening Level 3」 (Pearson)					
担当教員		リチャード カーティス					
到達目標							
1. コミュニケーション活動に必要なとなる基本的な語彙や慣用句的な使い方を理解し、実際に活用できる。 2. 規則に基づいた文法構造を理解し、実際に活用できる。 3. 限られた長さの読解文または聴解文、会話において、主旨、目的、基本的な文脈が理解できる。 4. 複数の情報の関連づけを行うことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標 1		コミュニケーション活動に必要なとなる基本的な語彙や慣用句的な使い方を幅広く理解し、実際に活用できる。		コミュニケーション活動に必要なとなる基本的な語彙や慣用句的な使い方を概ね理解し、実際に活用できる。		コミュニケーション活動に必要なとなる基本的な語彙や慣用句的な使い方を理解し、実際に活用することが困難である。	
到達目標 2		規則に基づいた文法構造をよく理解し、実際に活用できる。		規則に基づいた文法構造を概ね理解し、実際に活用できる。		規則に基づいた文法構造を理解し、実際に活用することが困難である。	
到達目標 3		限られた長さの読解文または聴解文、会話において、主旨、目的、基本的な文脈が詳細まで理解できる。		限られた長さの読解文または聴解文、会話において、主旨、目的、基本的な文脈が理解できる。		限られた長さの読解文または聴解文、会話において、主旨、目的、基本的な文脈を理解することが困難である。	
到達目標 4		複数の情報の関連づけを正確に行うことができる。		複数の情報の関連づけを概ね正確に行うことができる。		複数の情報の関連づけを行うことが困難である。	
学科の到達目標項目との関係							
本科学習目標 1 本科学習目標 3 創造工学プログラム C1							
教育方法等							
概要		実践英語は習熟度・目的別にスピーキング、リスニング、リーディングの3コースに分け、各技能のレベルアップに重点を置いた取り組みを通し、さまざまなシーンで必要な基本的語彙力、文法、会話のやりとりなどの基本重要事項の確認および定着学習を行う。これらの演習を通じて幅広い視点から自らの立場を理解し、社会や環境に配慮できる思考、および国際社会を多面的に考えることができる教養と語学力を培う。					
授業の進め方・方法		【事前事後学習など】 適宜課題を課す。 【関連科目】英語講読 Ⅲ					
注意点		・各コースの内容に応じた小テストを行う。 【評価方法・評価基準】 後期中間試験、学年末試験を実施する。成績の評価基準として60点以上を合格とする。 中間試験 (30%)、学年末試験 (30%)、小テスト・課題 (40%)					
テスト							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	Course introduction -- Text Unit 1: Relationships		Talking about life choices; Catching up with friends; Discussing the future		
		2週	Unit 2: Identity		Personal qualities; Surprising qualities; changes		
		3週	Unit 3: Advice		Giving advice; Getting unwanted advice		
		4週	Unit 4: Family		Unusual family members; Wedding plans; Family secrets		
		5週	Unit 5: Decisions		Important decisions; Weighing pros and cons		
		6週	Unit 6: Language		Learning English; Varieties of English		
		7週	Unit 7: Personality		Desirable qualities; How people look at themselves		
		8週	Evaluations		Oral presentations		
	4thQ	9週	Unit 8: Technology		Conveniences vs. dangers in technology; Complaining about technology; Technological issues		
		10週	Unit 9: Living situations		Problems with living situations; Complaints about living with people; Major negatives and major positives		
		11週	Unit 10: Survival		Natural disasters; Being prepared		
		12週	Unit 11: Work		Work environments; Talking about co-workers; Office rules		
		13週	Unit 12: Lifestyle--Unit 13: Travel		Bad habits; Pointing out rude behavior; Kicking bad habits--Travel difficulties; Discussing experiences		

		14週	Unit 14: Finances--Unit 15: Changes		Safe investing; Questionable investment ideas-- Dealing with loss; Talking about sadness		
		15週	Final evaluations		Final oral presentations		
		16週	Course wrap-up		Explain results; Questions and answers		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	試験		小テスト・課題		実力試験		合計
総合評価割合		80	20		0		100
基礎的能力		80	20		0		100
専門的能力		0	0		0		0
分野横断的能力		0	0		0		0